

チケンシャ フ マイセツブツ
地権者も分らない埋設物について

①..... 埋設物の試掘について

美笠建設株式会社 新穂高溪流保全工その3工事
(工期:平成27年 3月28日～平成28年度3月31日)

○現場代理人 コ マキ ヒロ アキ 小前博明
主任技術者 小前博明

1.はじめに

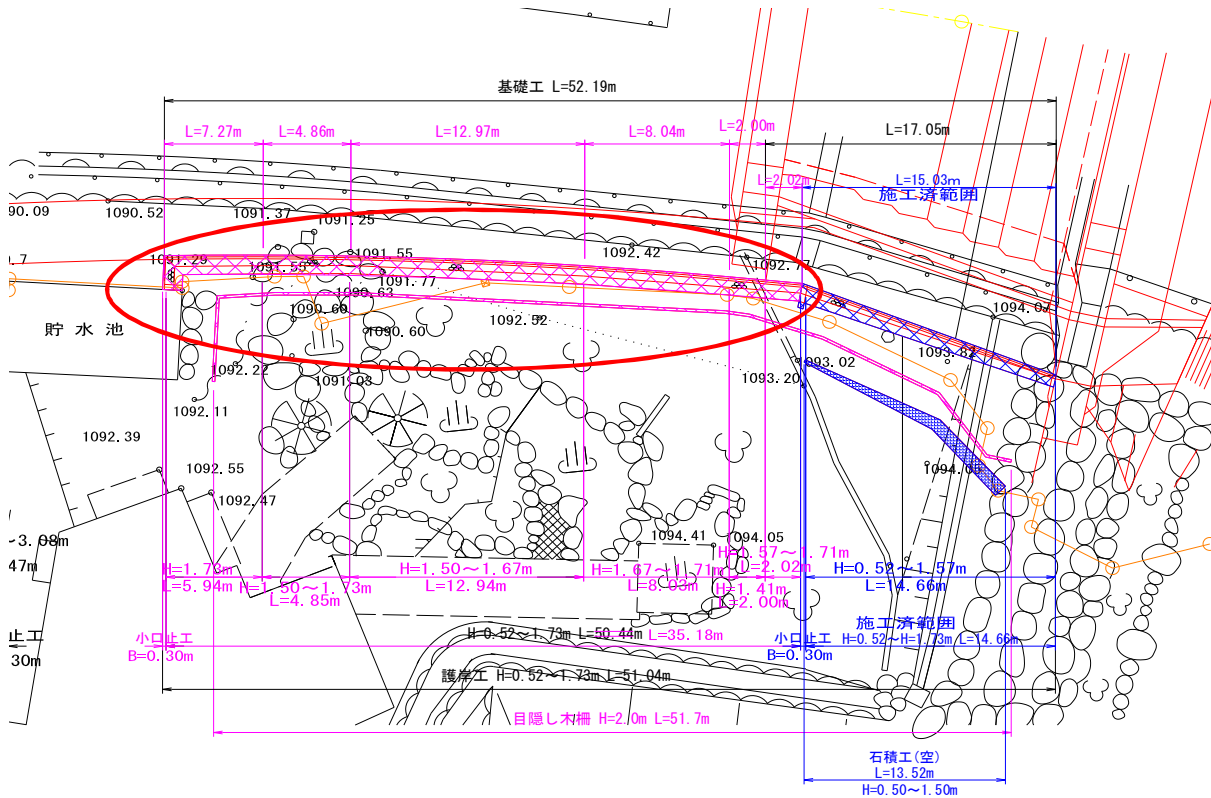
当該事業は、地域の山岳景観、親水性等に配慮しつつ、土砂災害に対する安全性の確保を図るため異常な流出土砂をスムーズに下流に流下させるとともに、上流域の流出土砂の抑制を図る土砂災害防止施設(溪流保全工)の整備を行っています。



工事概要

砂防土工	掘削工	1式	埋戻し工	1式
	残土処理工	1式		
流路護岸工	基礎工	1式	護岸工	1式
	底張工	1式		
床固工	垂直壁工	1式	魚道工	1式
構造物撤去工	構造物取壊工	1式	運搬処理工	1式
	工事用仮橋撤去	1式		
仮設工	工事用道路工	1式	砂防仮締切工	1式
	水替工	1式		
				除雪工

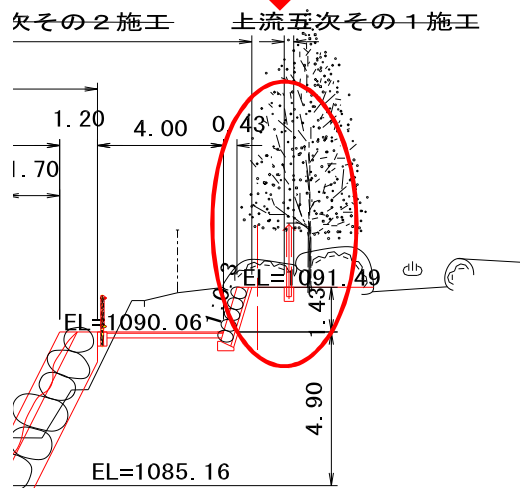
今回の工事は、ホテル穂高裏が施工箇所であり、ホテル穂高の改修期間に影響箇所を施工しなければならない工事であった。(高水護岸の施工)



露天風呂と護岸の施工(目隠しフェンス)が増工となった。



ただし、露天風呂の改修がどのようになるか分からないので、おおかた改修が終わったところにフェンスの高さ等を決定する必要があった。



1. 埋設物の確認

1-1 ホテル穂高に配管の確認

- 温泉、雑水の配管について確認したところ、昔の配管までは分らなく、ルートも通水しているかも分らない配管が出てくる。と言う回答を頂いた。
- 改修工事の設備工事担当者の方は、現在繋がれていた配管はルートを把握されていて、切り替え完了した配管もあるとの事であった。
- しかし、どの配管が通水していてどの配管が止水しているのか、また、どの深さにあるのかなんてことまでは、把握されていなかった。



1-2 埋設物確認

- 配管の露出しているところから、順番に人力で掘り進み配管を露出させた。



- 確実に止水している配管は間違えると大変なので、掘り出して撤去した。



2. 掘削

- ・ 目隠しフェンス基礎が嵌入する床まで確認が終わったので、重機にて掘削作業を開始。
- ・ それでも深さが分らないとの事だったので、見張りを2人配置し掘削を行った。
- ・ 改修工事の新配管はフェンスの外側に出すそうで、切り替えはフェンス設置後～～～って！！！！



3. フェンス施工

- ・ 基礎を設置し通りを確認しながら施工していくと土地の中から配管が・・・
- ・ 重機で掘削していたら、破裂していただろうという場所から・・・しかも何の配管か分らないそうで・・・(ヒヤヒヤ)
- ・ 埋設物の確認は人力に限ると再確認しました。

4. 完成

- ・ 人力にて確認して掘削時の危険を最小限に出来、後の施工がスムーズに行えた。掘削時に配管が、ど真ん中に出てこなかったから良かったと一安心。



5. おわりに

本工事は現在施工中であり工期終了まで、無事故・無災害を念頭におき日々変わる環境や状況の中で、些細な危険要因や慣れから来る事故などを事前に阻止できるよう安全施設を工夫するとともに、日々の点検、書類だけで終わることなく、状況の変化に対する自己の感覚や作業員の体調・動作などの観察にも留意し安全に施工していきたいと思えます。